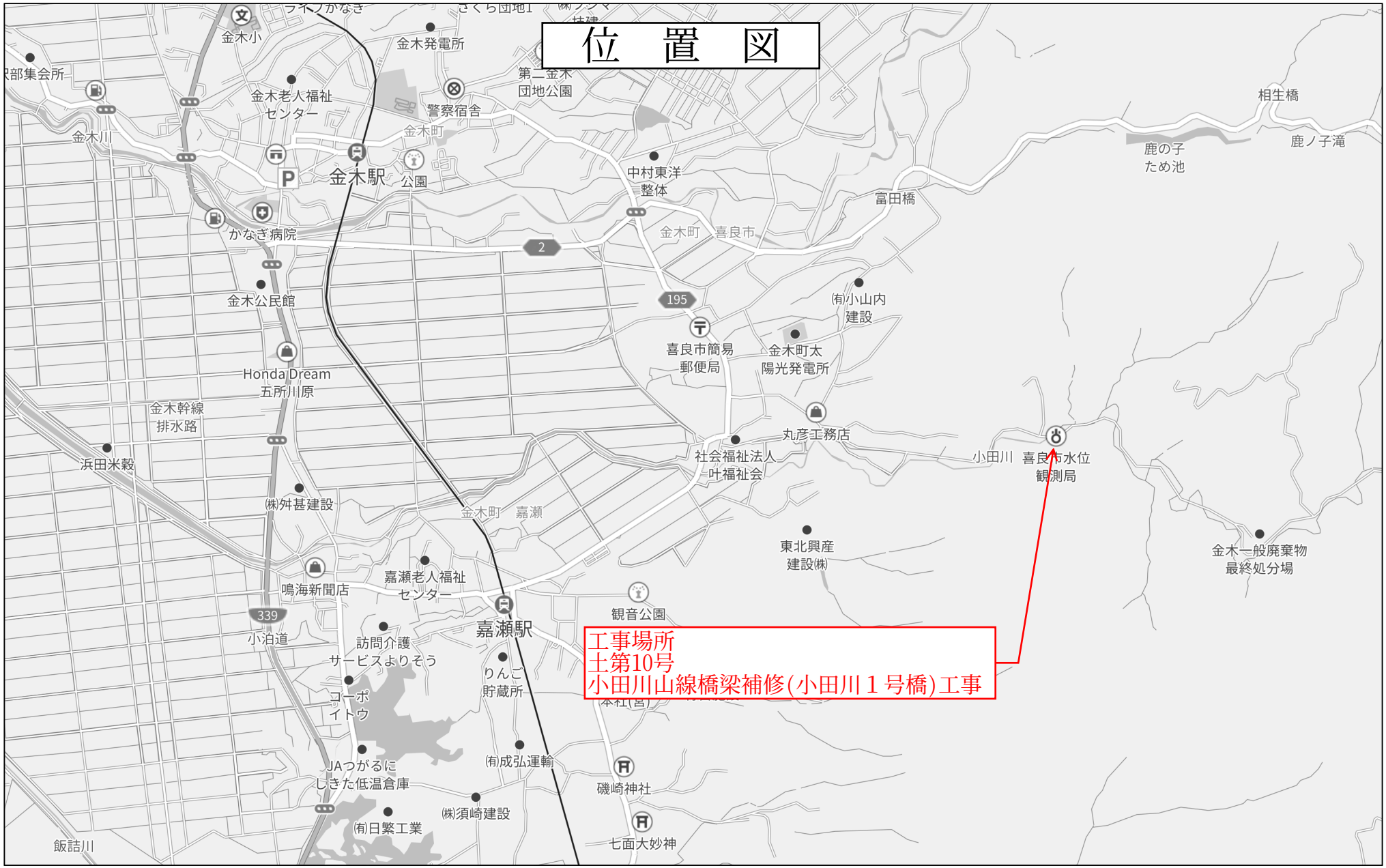


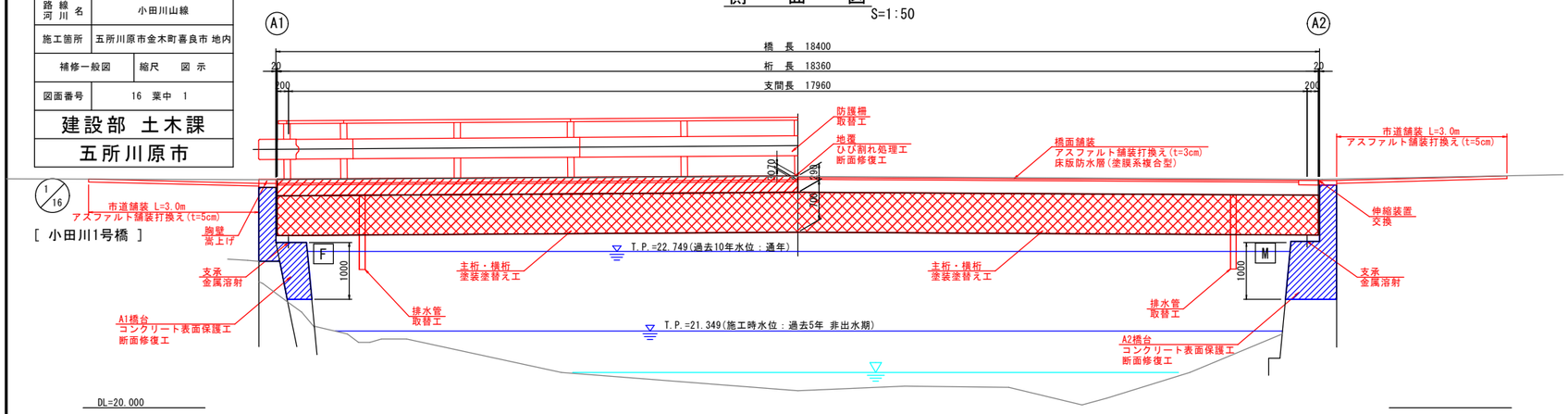
Copyright(C)2026 ZENRIN CO., LTD.

禁無断複写複製
青森県五所川原市

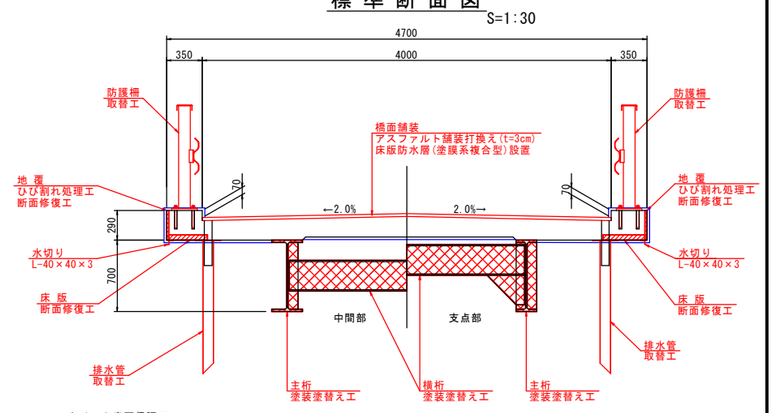
補　修　一　般　図

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第　10　号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
補修一般図	縮尺　図示
図面番号	16　葉中　1
建設部　土木課	
五所川原市	

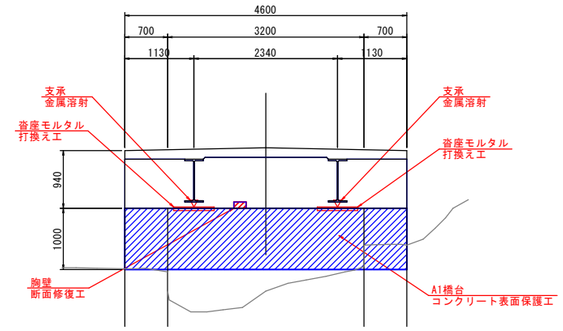
側　面　図
S=1:50



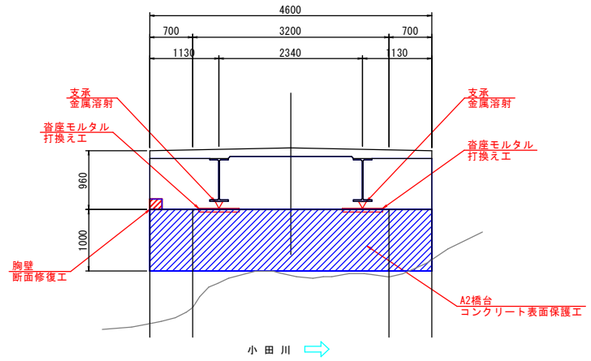
標　準　断　面　図
S=1:30



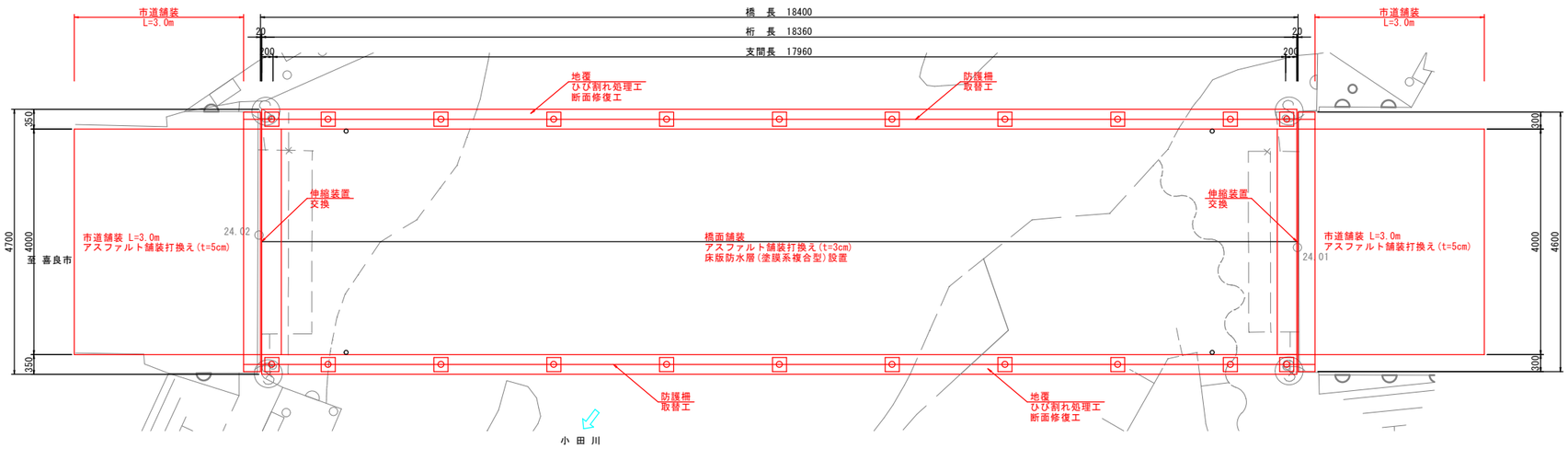
A1 橋 台
S=1:50



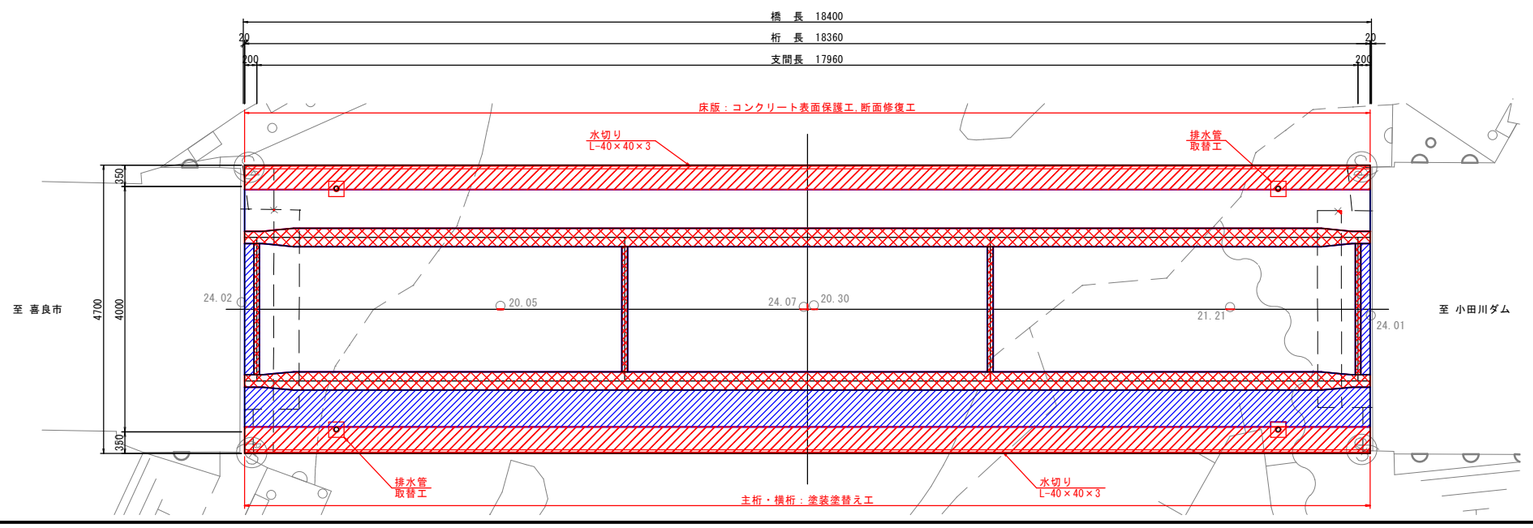
A2 橋 台
S=1:50



平　面　図
（ 橋 面 ）　S=1:50



平　面　図
（ 路 下 ）　S=1:50



凡例
- 断面修復工
- コンクリート表面保護工
- 塗装塗替え工

橋　梁　諸　元

上部工形式	鋼単純合成H桁
設計荷重	TL-14
橋　長	18.400m
桁　長	18.360m
支間長	17.960m
全幅員	4.700m
有効幅員	4.000m
横断勾配	←2.000%　2.000%→
斜　角	90° 00′ 00″
橋面舗装	アスファルト舗装
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
架設年度	昭和44年11月
適用示方書	道路橋示方書・同解説　昭和39年

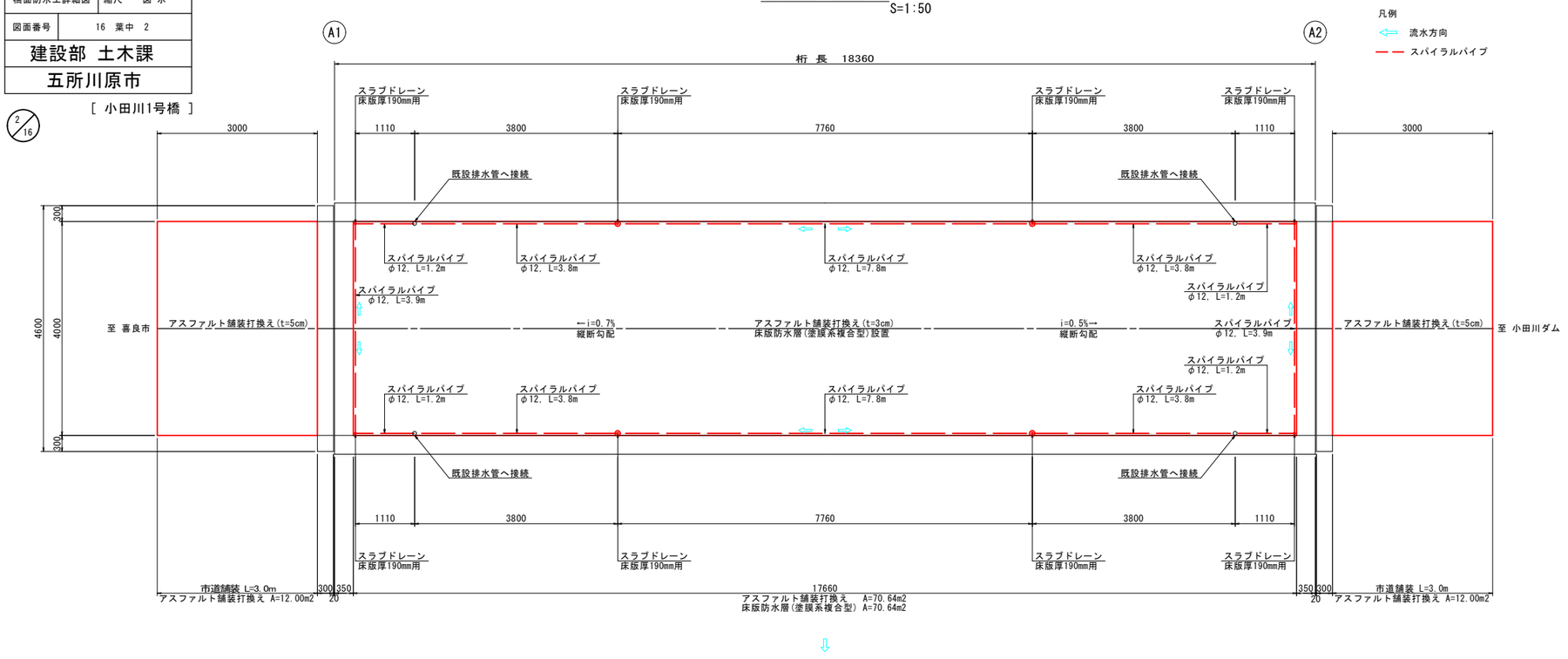
令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
橋面防水工詳細図	縮尺　図 示
図面番号	16 葉中 2
建設部 土木課	
五所川原市	

2/16

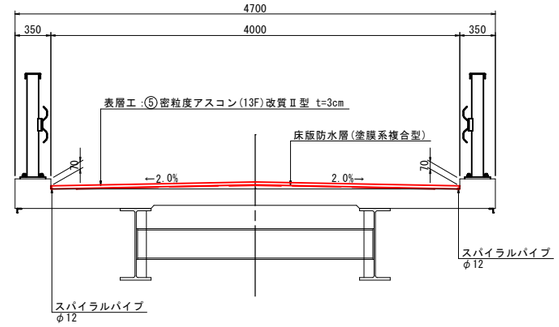
［ 小田川1号橋 ］

橋 面 防 水 工 詳 細 図

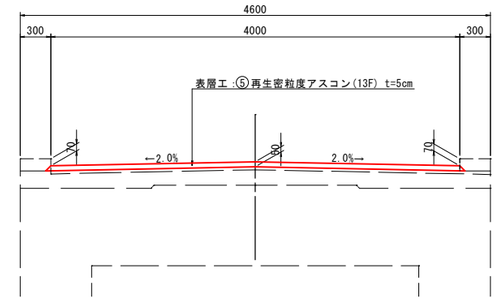
平 面 図
S=1:50



断 面 図
S=1:30

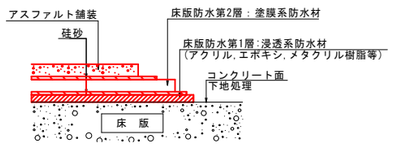


断 面 図
（ 橋台背面 ） S=1:30

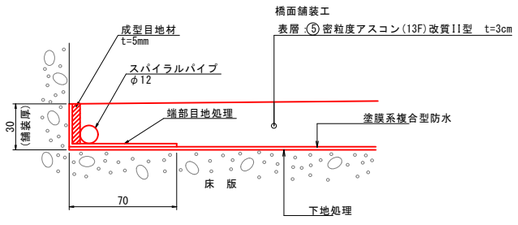


※ アスファルト舗装敷設の際の高さ調整は「切込砕石(C-20)」を使用すること。

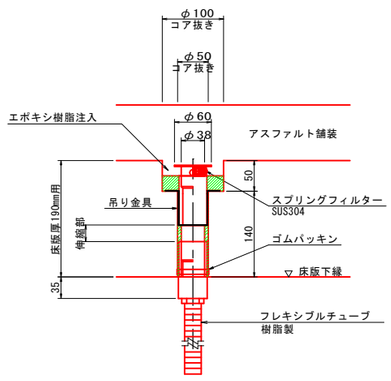
床版防水層詳細図
（塗膜系複合型） S=Free



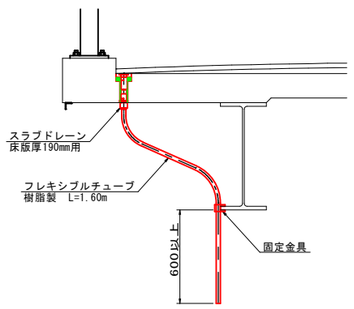
防水層端部詳細図
S=1:2



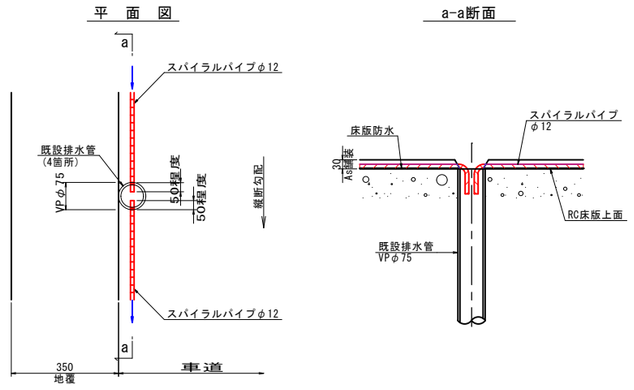
スラブドレーン詳細図
S=1:5



フレキシブルチューブ配置図
S=1:20



既設排水管接続詳細図
S=1:10



（特記事項）

1. 図中、詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
2. スパイラルパイプ端部は排水装置に接続すること。
3. 市道の舗装は、現況地盤に擦り付けること。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第　10　号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
地覆及び床版補修図	縮尺　　図示
図面番号	16　葉中　3
建設部　土木課	
五所川原市	

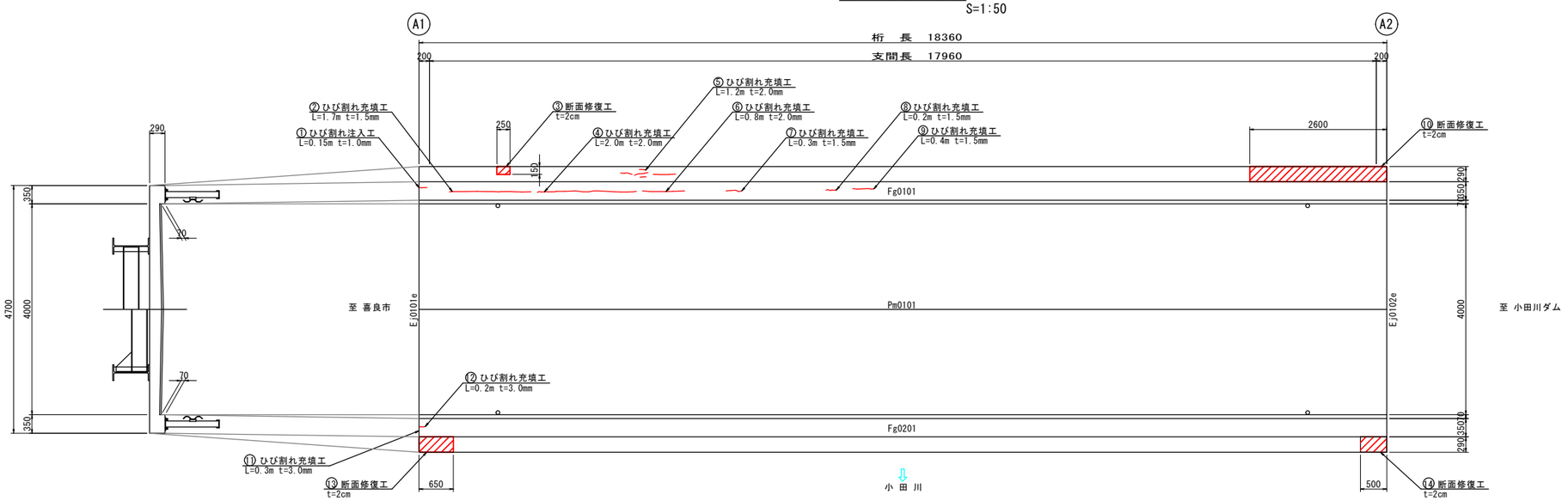
［ 小田川1号橋 ］

3/16

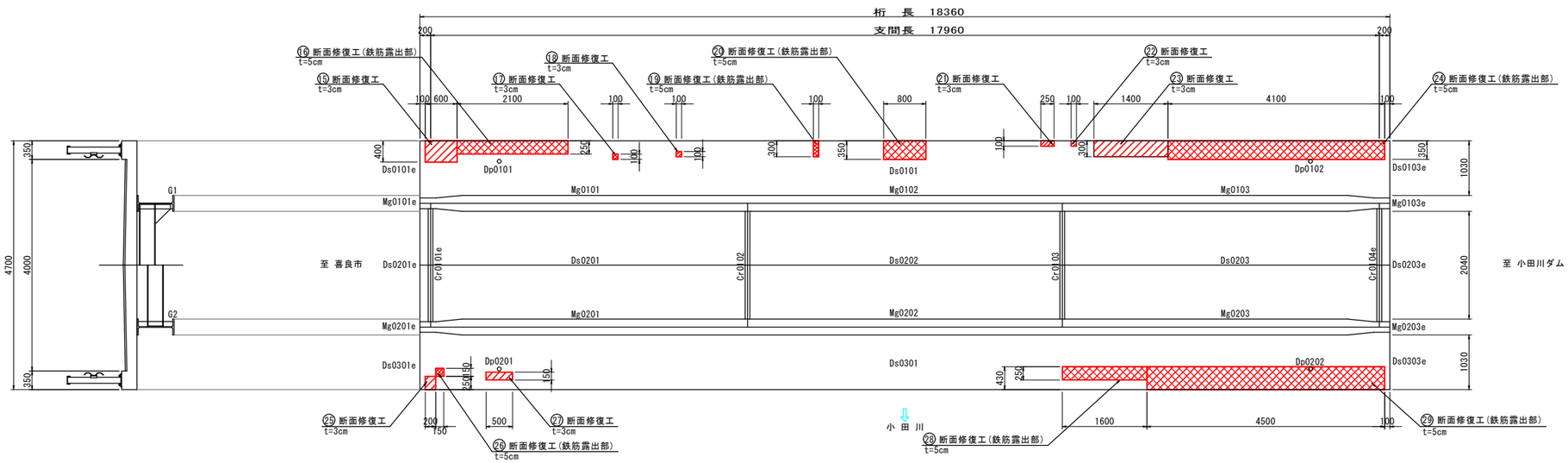
地覆及び床版補修図

断面修復工
断面修復工(鉄筋露出部)

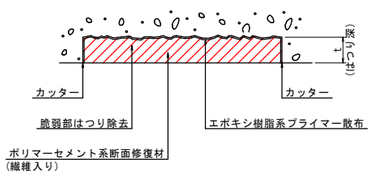
平　面　図
S=1:50



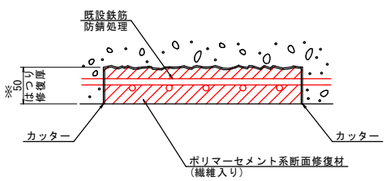
平　面　図
(路下)　S=1:50



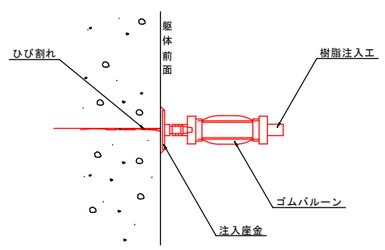
断面修復詳細図
NOSCALE



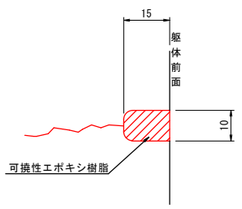
断面修復工+露出鉄筋処理工詳細図
(修復厚：5cm)　NOSCALE



ひび割れ注入工詳細図
NOSCALE



ひび割れ充填工詳細図
NOSCALE



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所は下地処理、プライマー塗布を行うこと。
3. 補修箇所の鉄筋を露出させた場合は、防錆処理を行うこと。

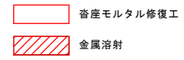
令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
支承補修図(1/2)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 4
建設部 土木課	
五所川原市	

4/16

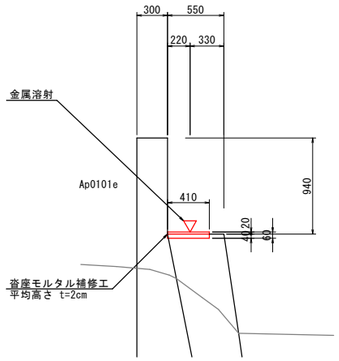
［ 小田川1号橋 ］

支 承 補 修 図(1/2)

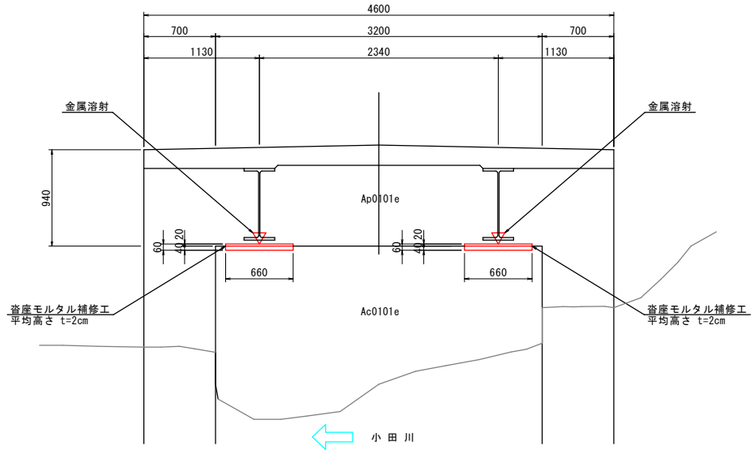
〔 A1橋台 〕



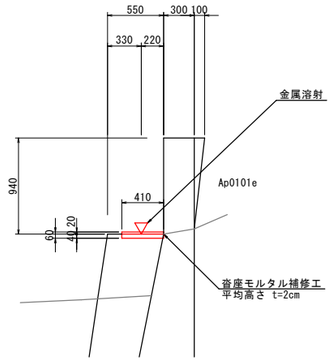
側面図(下流側)



正 面 図



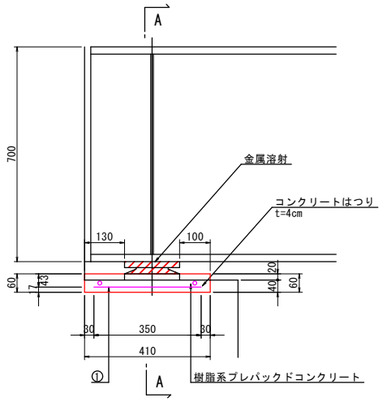
側面図(上流側)



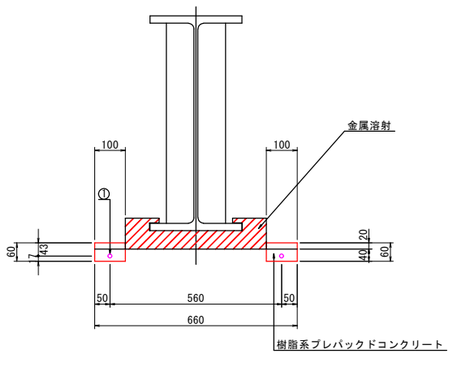
沓座モルタル修復工詳細図

S=1:10

側 面 図

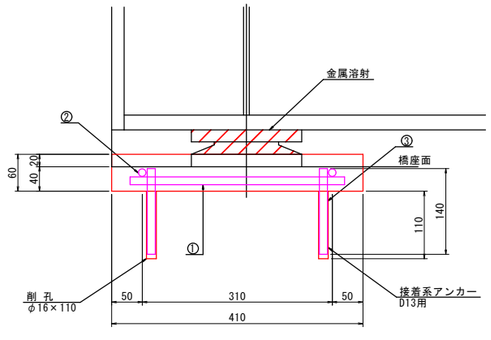


A - A断面図

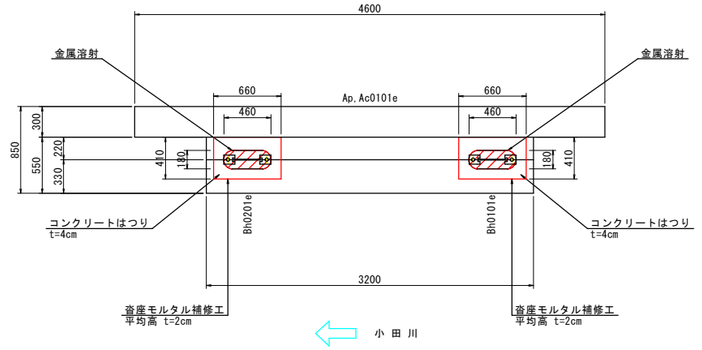


B - B断面図

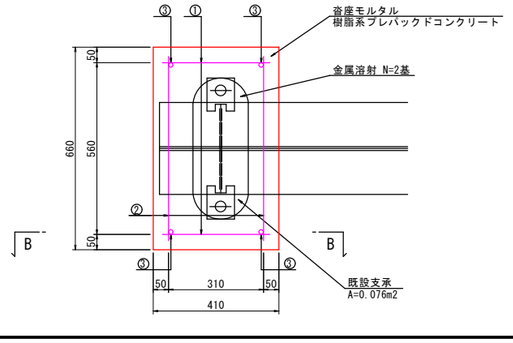
S=1:5



平 面 図



平 面 図

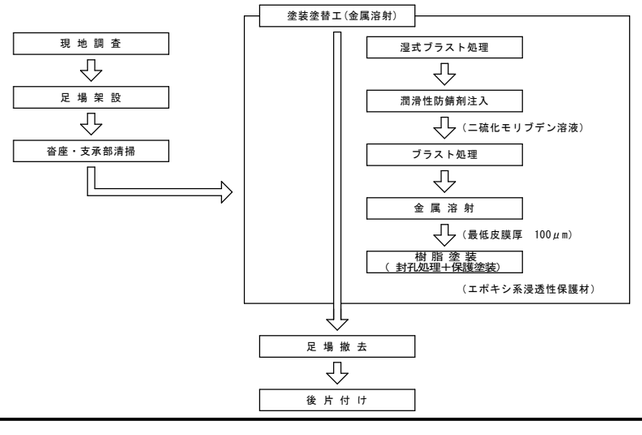


鉄筋重量表

(SD345)

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
①	D13	350	4	0.995	0.348	1	
②	D13	600	4	0.995	0.597	2	
③	D13	140	8	0.995	0.139	1	
				合計	D13	4	kg
接着系アンカー D13用			8 本				

支承補修工施工フロー



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所は下地処理、プライマー塗布を行うこと。
3. 補修箇所の鉄筋が露出した場合は、ケレン後防錆処理を行うこと。
4. 接着系アンカーは、ケミカルアンカー PG-13 相当品とする。
5. 金属溶射は、若返り工法相当とする。
6. はつり個所は事前にコンクリートカッターを入れること。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
支承補修図(2/2)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 5
建設部 土木課	
五所川原市	

5/16

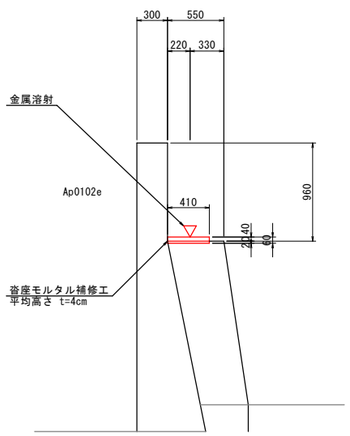
［ 小田川1号橋 ］

支 承 補 修 図(2/2)

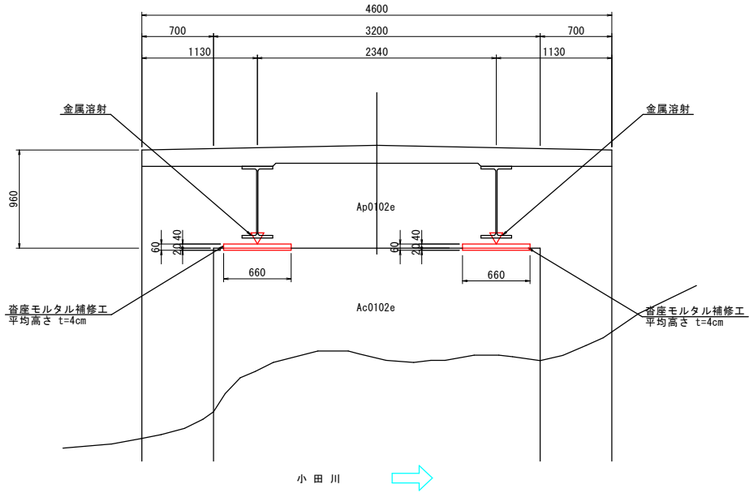
〔 A2橋台 〕

沓座モルタル修復工
金属溶射

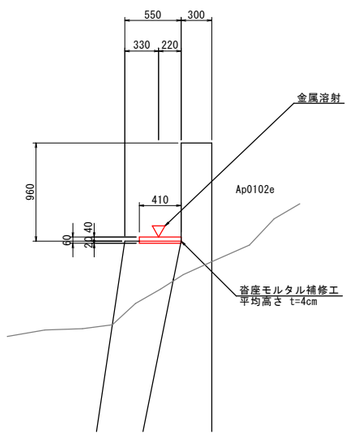
側面図(上流側)



正 面 図



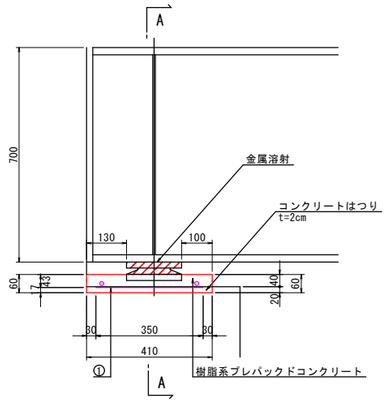
側面図(下流側)



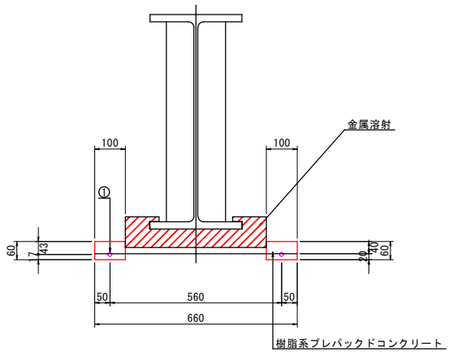
沓座モルタル修復工詳細図

S=1:10

側 面 図

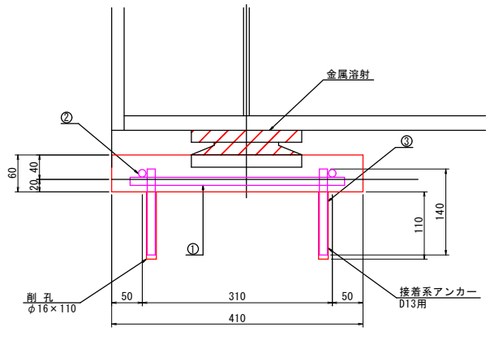


A － A断面図

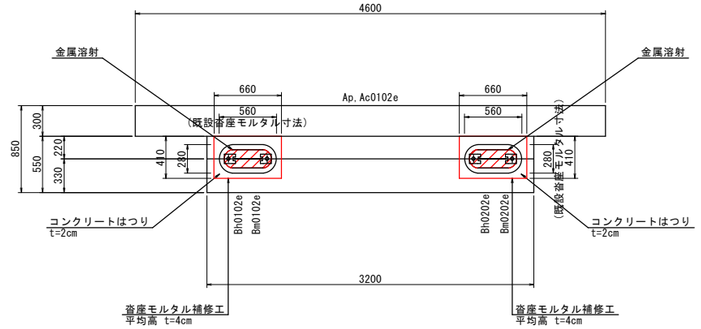


B － B断面図

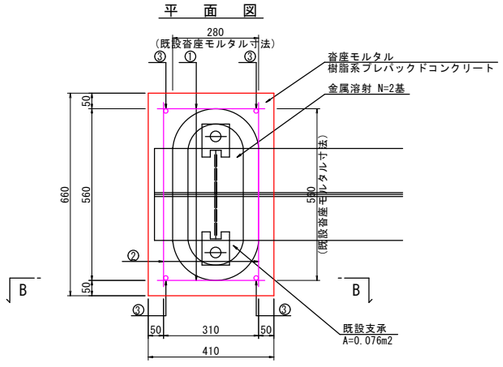
S=1:5



平 面 図



平 面 図

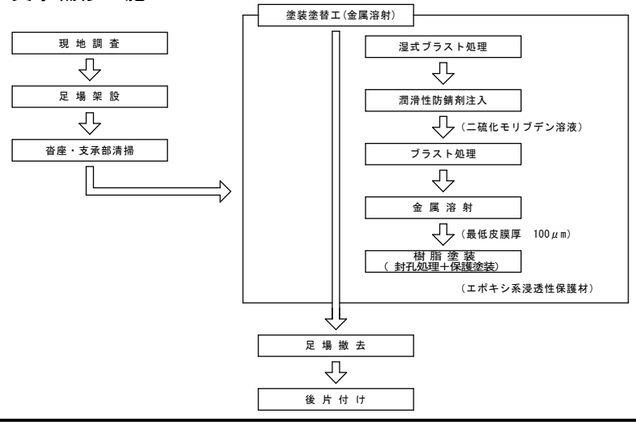


鉄筋重量表

(SD345)

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
①	D13	350	4	0.995	0.348	1	
②	D13	600	4	0.995	0.597	2	
③	D13	140	8	0.995	0.139	1	
				合計	D13	4	kg
接着系アンカー D13用			8 本				

支承補修工施工フロー



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所は下地処理、プライマー塗布を行うこと。
3. 補修箇所の鉄筋が露出した場合は、ケレン後防錆処理を行うこと。
4. 接着系アンカーは、ケミカルアンカー PG-13 相当品とする。
5. 金属溶射は、若返り工法相当とする。
6. はつり個所は事前にコンクリートカッターを入れること。

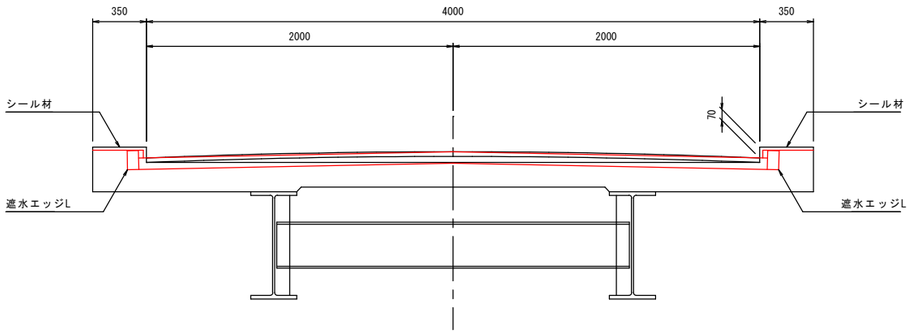
令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線名 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市地内
伸縮装置詳細図	縮尺 S=1:50
図面番号	16 葉中 6
建設部 土木課	
五所川原市	

6/17

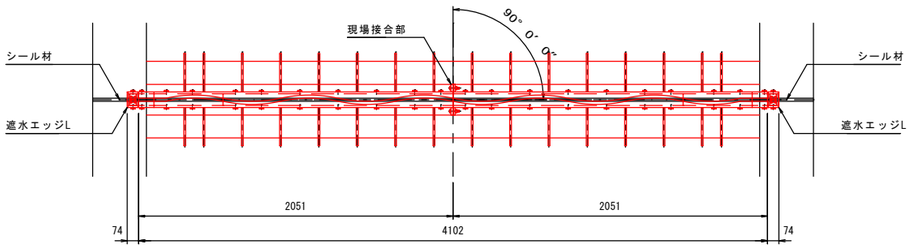
［ 小田川1号橋 ］

伸縮装置詳細図

断面図 S=1/20



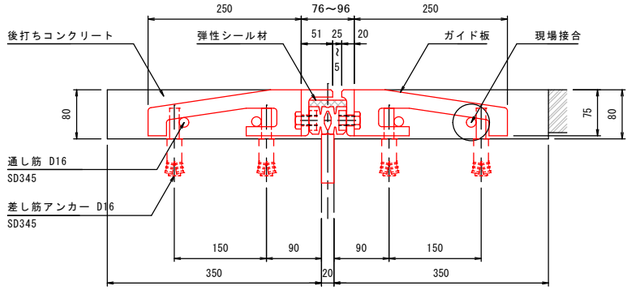
平面図 S=1/20



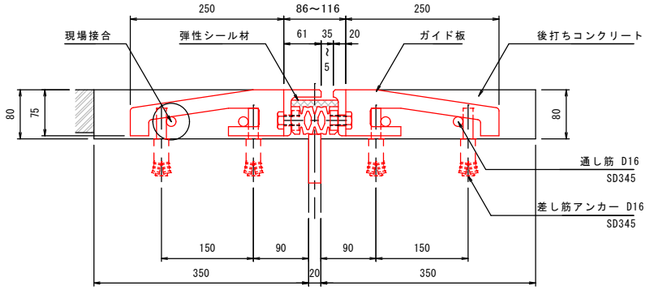
※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

伸縮装置断面図 S=1/5

ブロフジョイントCDx型－20用、耐グレーダー



ブロフジョイントCDx型－30用、耐グレーダー



端部詳細図 S=1/10

シール材充填図 S=1/3

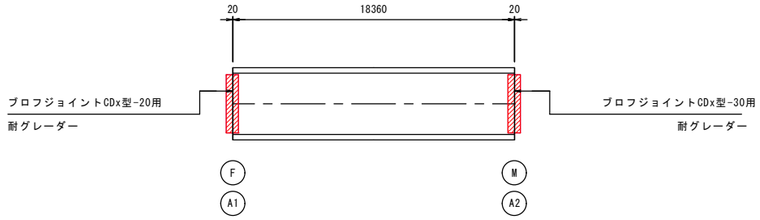
予備圧縮量

伸縮継手材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
ブロフジョイントCDx型－20用	SS400 合成ゴム 弾性シール材	4.102 m		4.102 m	耐グレーダー
ブロフジョイントCDx型－30用	SS400 合成ゴム 弾性シール材		4.102 m	4.102 m	耐グレーダー
遮水エッジL（20用）		2 ヶ所		2 ヶ所	
遮水エッジL（30用）			2 ヶ所	2 ヶ所	
CDx用接着剤		1 式	1 式	2 式	20用,30用
シール材	シリコン系	0.3 L	0.3 L	0.6 L	
バックアップ材		0.840 m	0.840 m	1.680 m	□50
後打ちコンクリート		0.230 m³	0.230 m³	0.460 m³	
通し筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x4100
差し筋アンカー	SD345	64 本	64 本	128 本	D16用

注1) カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定のこと。
注2) 伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。
注3) 差筋アンカーは、ガイド板ピッチに沿って配置のこと。

配置図



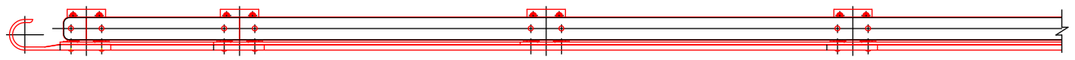
防 護 柵 詳 細 図

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
防護柵詳細図	縮尺 図 示
図面番号	16 葉中 7
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

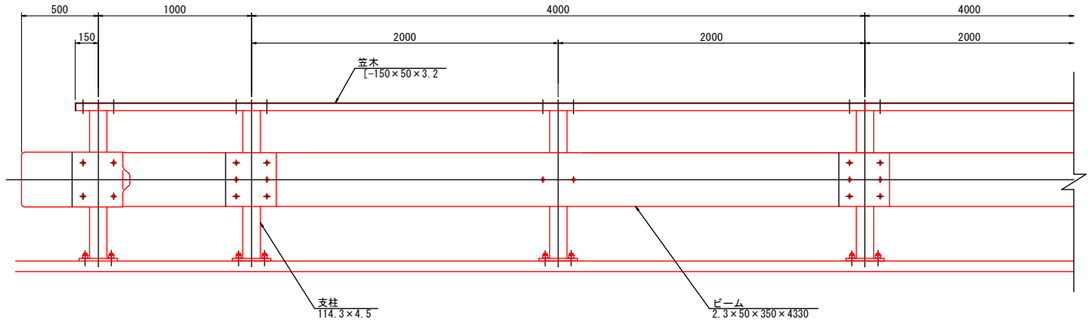
7/16

平 面 図
S=1:20

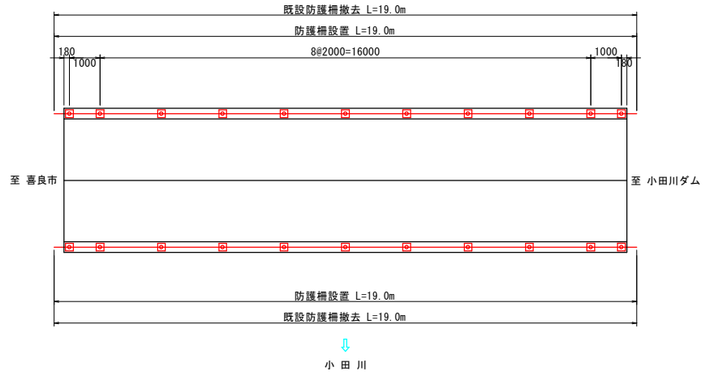


道路側

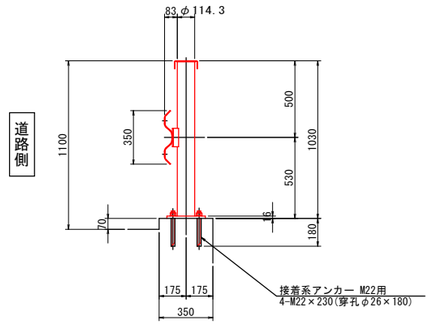
側 面 図
S=1:20



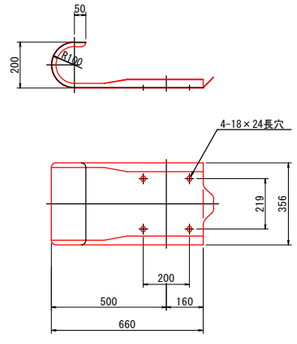
配 置 図
S=1:100



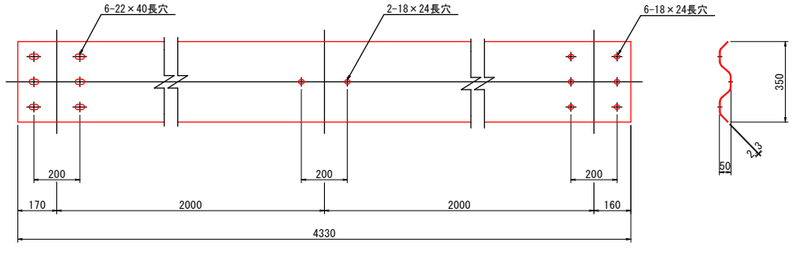
断 面 図
S=1:20



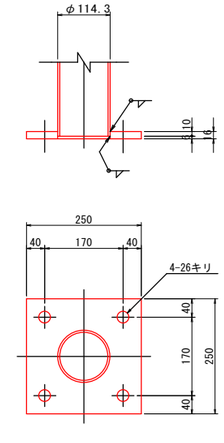
袖ビーム
S=1:20



ビーム
S=1:20

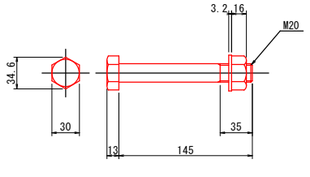


ベースプレート
S=1:10

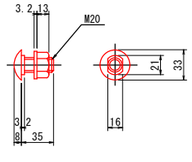


注記：本図は道路側から見た図面である。

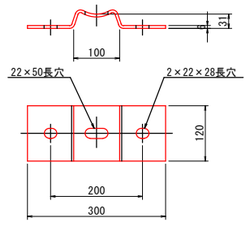
ブラケット取付用B.N.W.(4.6)
S=1:5



ビーム取付用B.N.W.(6.8)
S=1:5



ブラケット
S=1:10



（特記事項）
1. 接着系アンカーは、ケミカルアンカー R-22SN 相当品とする。

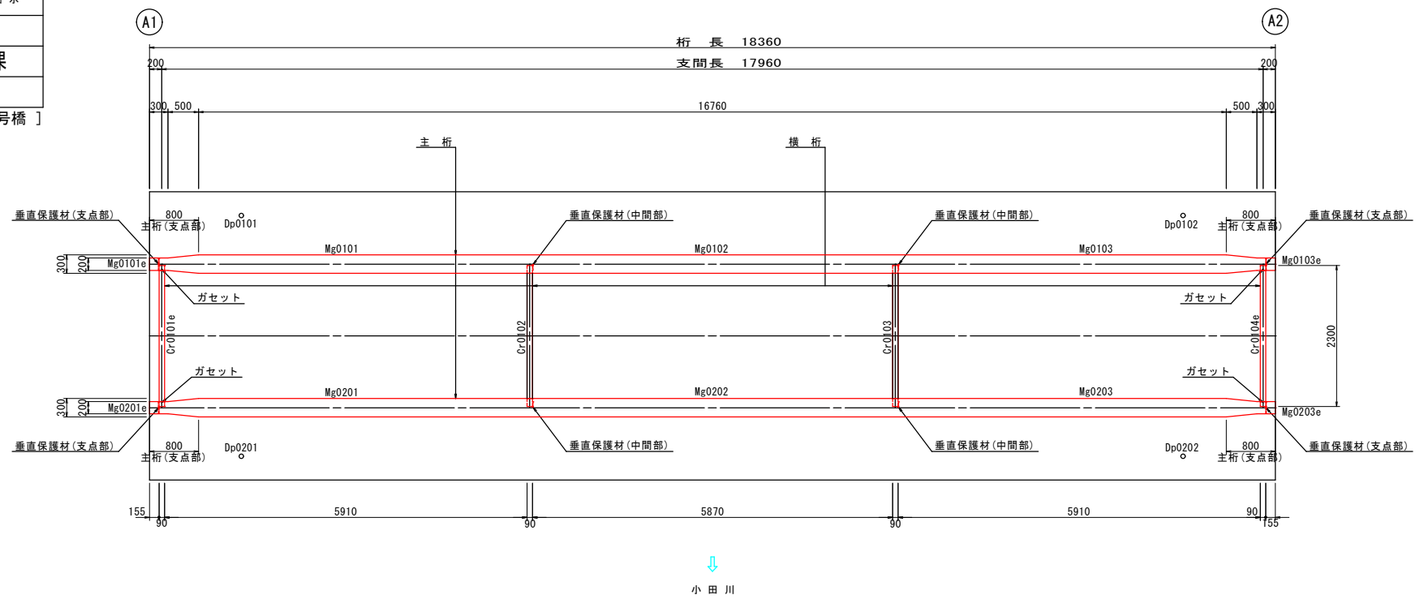
令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
塗装塗替え詳細図	縮尺　　図 示
図面番号	16 葉中 8
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

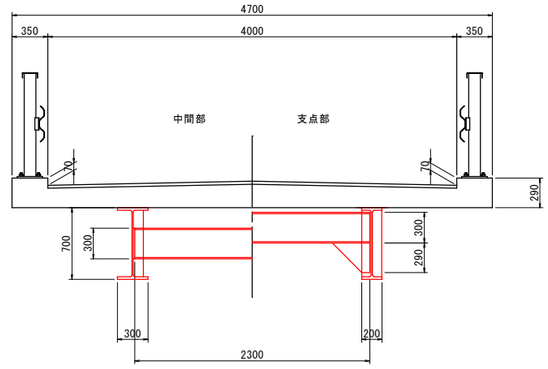
8/16

塗装塗替え詳細図

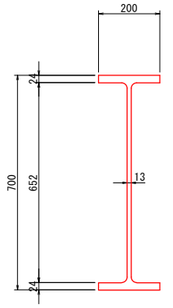
平 面 図（路下） S=1:50



断 面 図 S=1:30

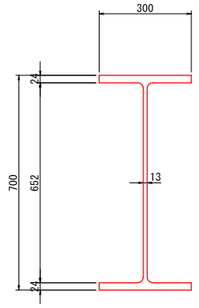


主桁(支点部) S=1:10



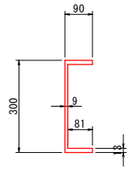
塗装面積 A=1.603 m2(箇所当り)

主 桁 S=1:10



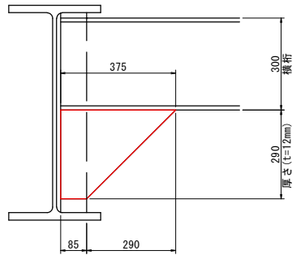
塗装面積 A=2.272 m2(m当り)

横 桁 S=1:10



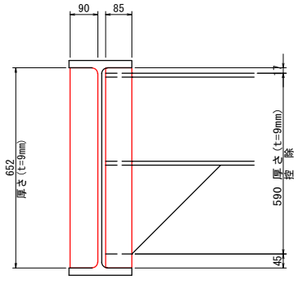
塗装面積 A=2.253 m2(箇所当り)

ガセット S=1:10



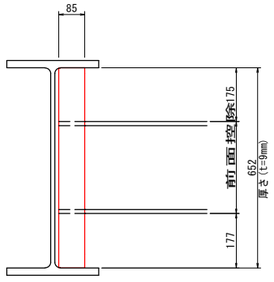
塗装面積 A=0.138 m2(両面,1箇所当り)

垂直保護材(支点部) S=1:10



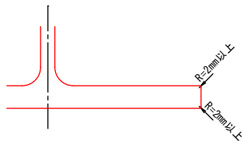
塗装面積 A=0.134 m2(両面,1箇所当り)

垂直保護材(中間部) S=1:10



塗装面積 A=0.085 m2(両面 1箇所当り)

面取り詳細図 S=1:3



※下フランジ等のエッジ部は面取り処理すること。

塗 装 仕 様

・橋体工塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)に準拠し下表のとおりとする。

・塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。

・剥離剤によって生じた旧塗膜のペーストは、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施し、その廃棄物は適切に処理を行う。

・素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

Rc-II塗装系

塗装工程	塗 料 名	標準使用量(g/m2)	塗装間隔
剥離剤塗布	インパイロワン工法または同等工法		
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント※1	(240g/m2)	1日～10日※2
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m2	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m2	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140g/m2	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120g/m2	

※1:素地調整程度2種ではあるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、他の旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布する。この際、使用量の目安は、240g/m2程度である。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2である。

※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

（特記事項）

1. 素地調整のレベルは、塗膜除去後の錆発生面積に応じて適宜変更すること。
2. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。

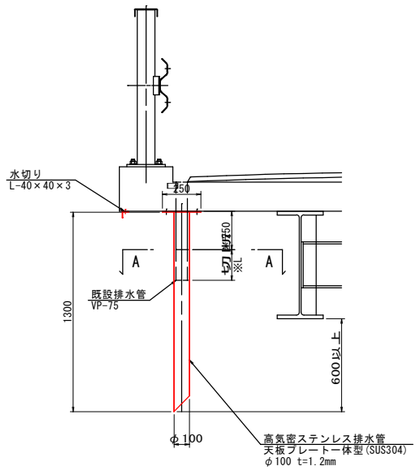
排 水 装 置 補 修 図

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
排水装置補修図	縮尺 図 示
図面番号	16 葉中 9
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

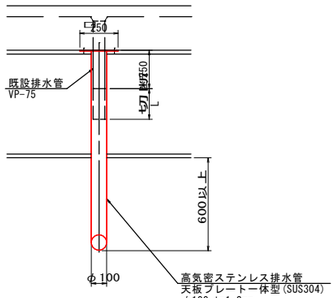
9/16

正 面 図
S=1:20



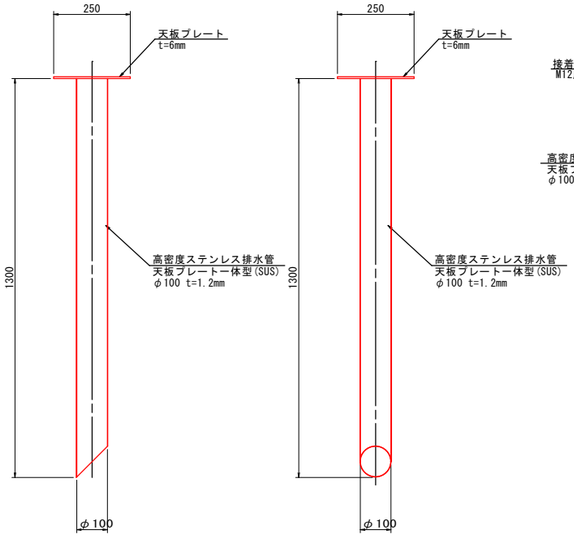
※ 既設排水管の切断は、現地検測のうえ決定すること。
（ 目安としては、Dp0101 L=50mm, Dp0102 L=50mm, Dp0202 L=500mm ）

A － A断面図
S=1:20



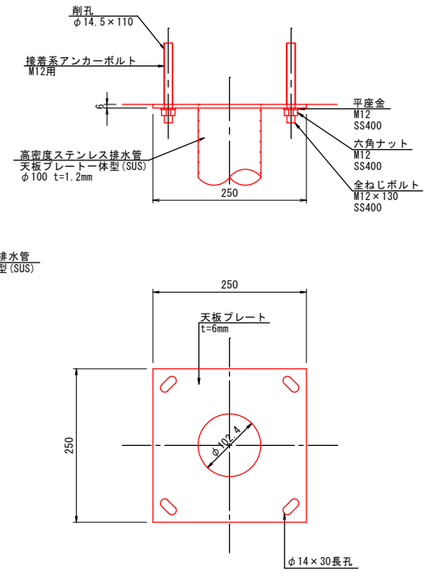
排水管寸法図

排 水 管
S=1:10



（1箇所あたり）
1-φ100×1300(SUS304)

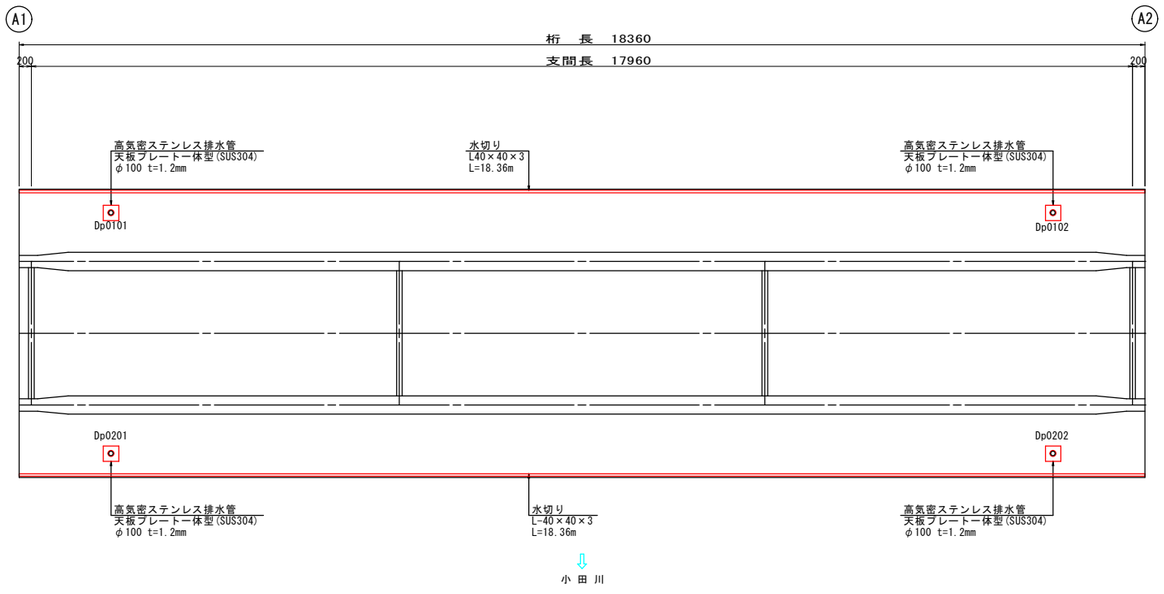
天板プレート部
S=1:5



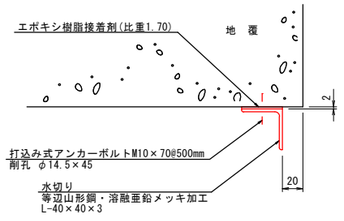
取付部品(1箇所あたり)

4-B.N.W. M12×130(SS400)
4-接着系アンカーボルト M12×100
4-削孔 φ14.5×100

位 置 図
S=1:50



水切り設置詳細図
S=1:3



（特記事項）

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 接着系アンカーボルト打込みの際は、鉄筋探査を行うこと。
3. 水切り(等辺山形鋼SS400)は、溶融亜鉛メッキ(HDZ40)加工とする。
4. 接着系アンカーは、ケミカルアンカーPG-13相当品とする。
5. 打込み式アンカーの図は、スリーブ打込み式の場合。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋) 工事	
工事番号	第　10　号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
コンクリート表面 保護工詳細図(1/3)	縮尺　S=1:30
図面番号	16　葉中　10
建設部 土木課	
五所川原市	

10/16

［ 小田川1号橋 ］

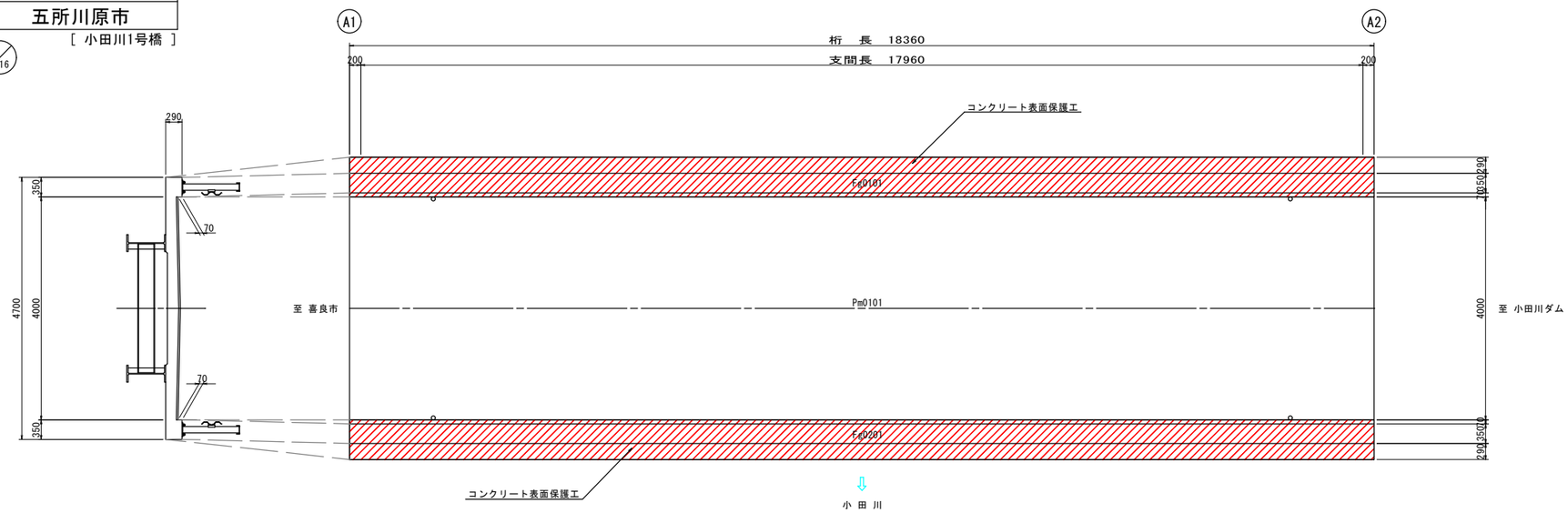
コンクリート表面保護工詳細図(1/3)

〔 地覆・床版 〕

コンクリート表面保護工(高分子系含浸材)

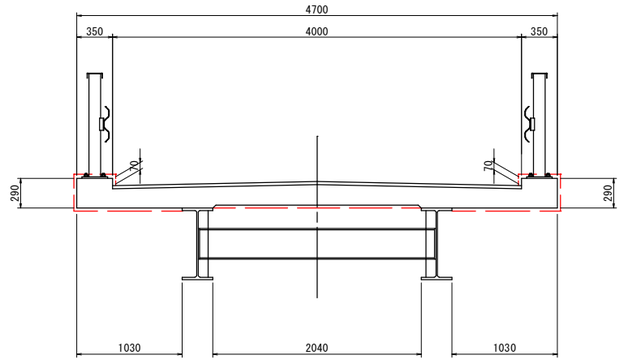
平　面　図

S=1:50



断　面　図

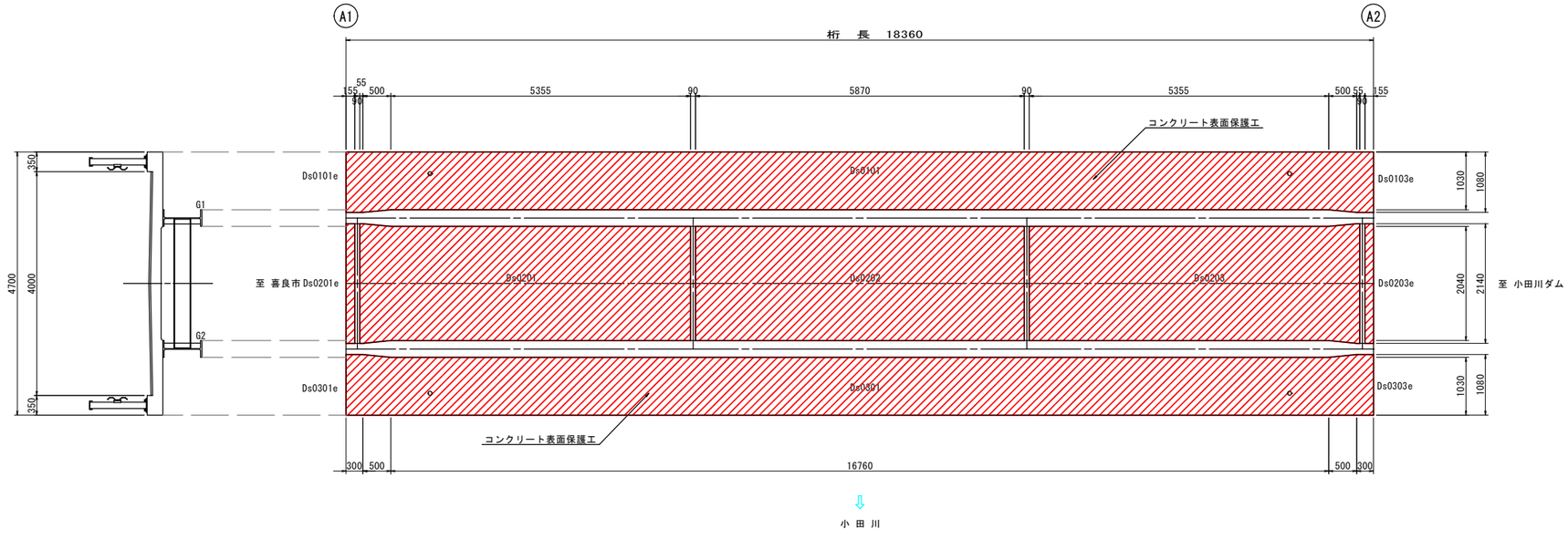
S=1:30



コンクリート表面保護工

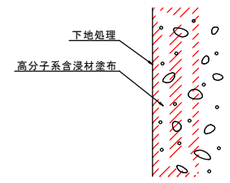
平　面　図
(路下)

S=1:50



コンクリート表面保護工仕様

NOSCALE



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 下地処理の際は、コンクリート表面の汚れや遊離石灰を除去すること。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋) 工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川 名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
コンクリート表面 保護工詳細図(2/3)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 11
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

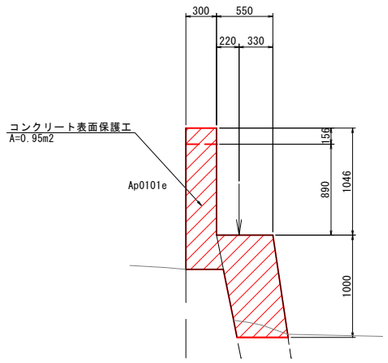
11/16

コンクリート表面保護工詳細図(2/3)

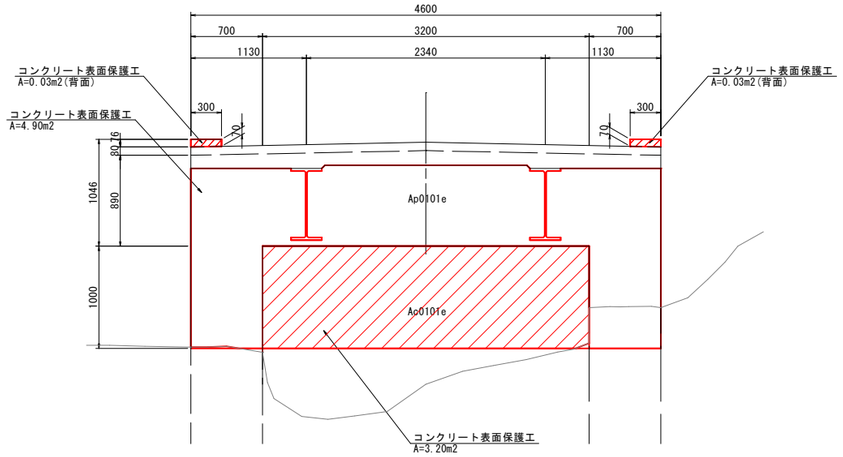
〔 A1橋台 〕

コンクリート表面保護工(高分子系含浸材)

側面図(下流側)

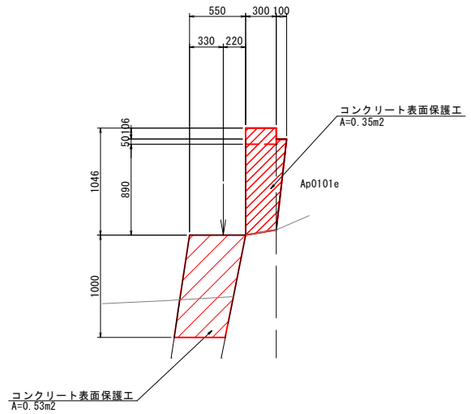


正　面　図

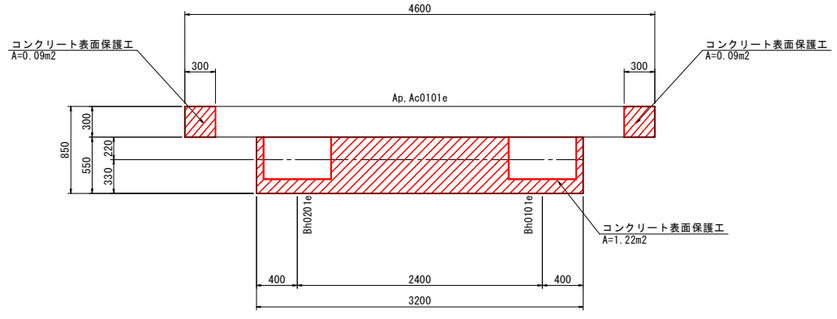


小 田 川

側面図(上流側)

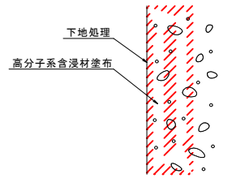


平　面　図



コンクリート表面保護工仕様

NOSCALE



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 下地処理の際は、コンクリート表面の汚れや遊離石灰を除去すること。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
コンクリート表面 保護工詳細図(3/3)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 12
建設部 土木課	
五所川原市	

12/16

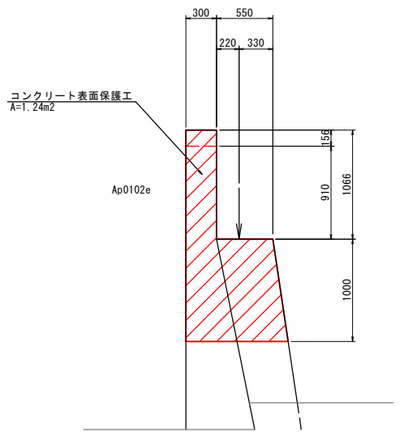
［ 小田川1号橋 ］

コンクリート表面保護工詳細図(3/3)

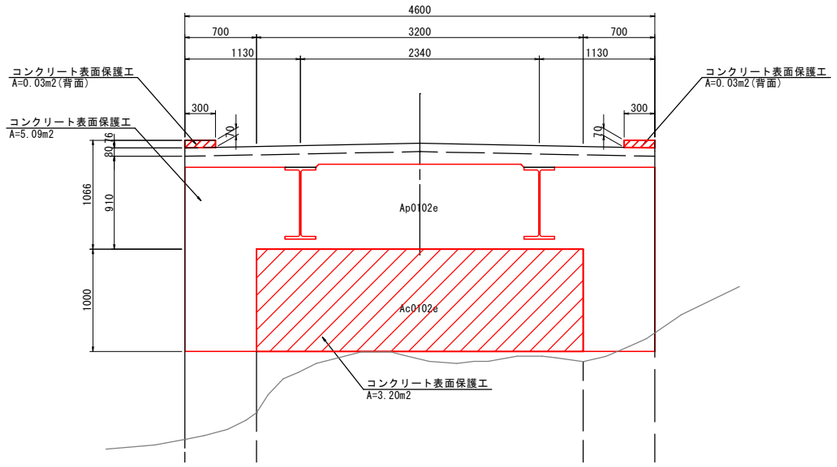
〔 A2橋台 〕

コンクリート表面保護工(高分子系含浸材)

側面図(上流側)

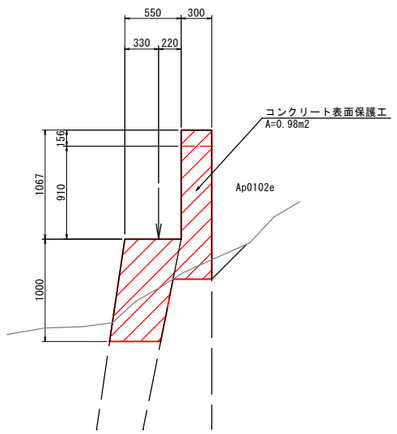


正 面 図

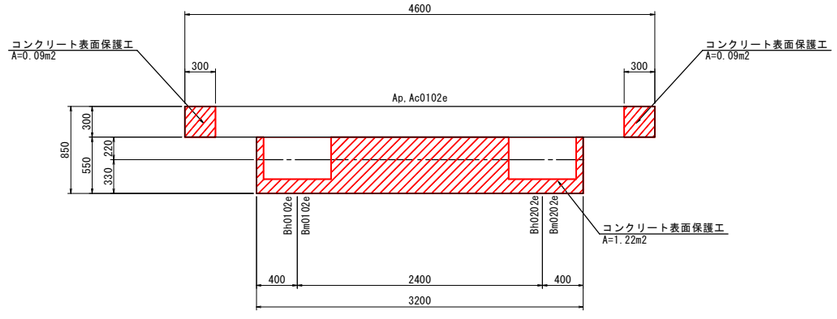


小 田 川

側面図(下流側)

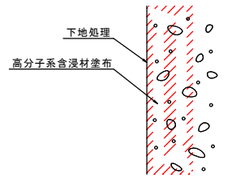


平 面 図



コンクリート表面保護工仕様

NOSCALE



(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 下地処理の際は、コンクリート表面の汚れや遊離石灰を除去すること。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
下部工補修図(1/2)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 13
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

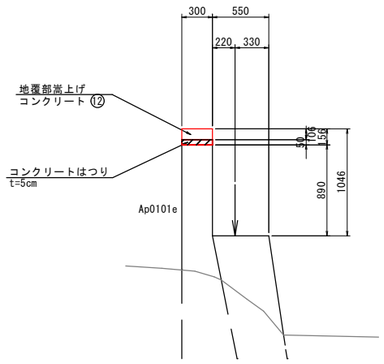
13/16

下 部 工 補 修 図 (1/2)

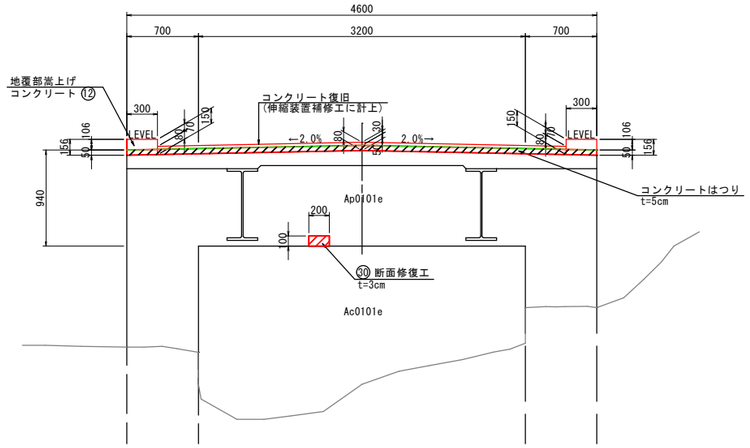
［ A1橋台 ］ S=1:30

断面修復工
コンクリートはつり
超速硬コンクリート

側面図(下流側)
(A1橋台)

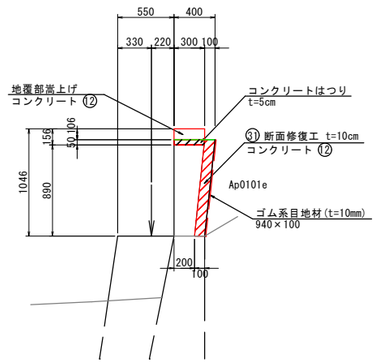


正 面 図
(A1橋台)

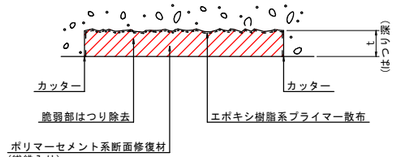


小 田 川

側面図(上流側)
(A1橋台)

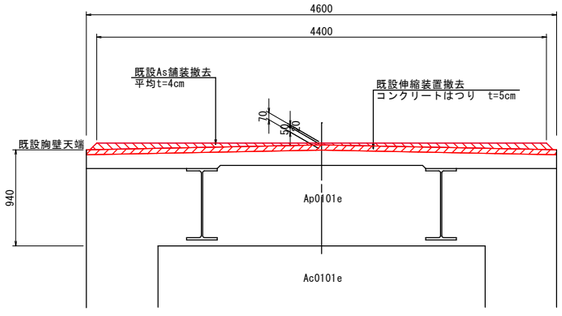


断面修復詳細図
㉚ NOSCALE

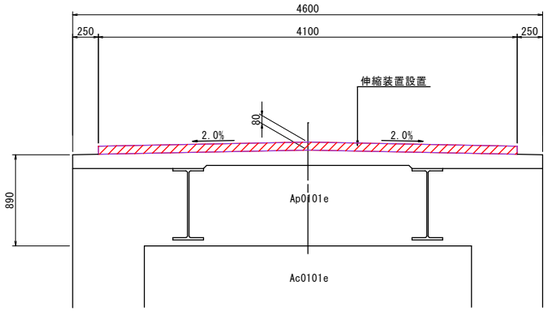


胸壁天端施工手順

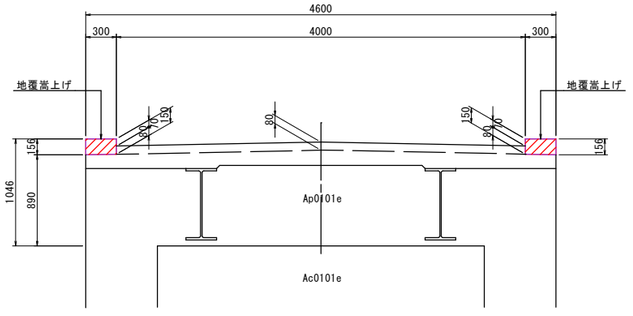
(1)既設As舗装を撤去する。
(2)胸壁天端からt=5cmをはつり、既設伸縮装置を撤去する。



(3)鋼製伸縮装置の設置。
使用コンクリート：超速硬コンクリート



(4)地覆嵩上げコンクリート打設。
使用コンクリート：コンクリート ⑫



(特記事項)
1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所は下地処理、プライマー塗布を行うこと。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
下部工補修図(2/2)	縮尺 S=1:30
図面番号	16 葉中 14
建設部 土木課	
五所川原市	

［ 小田川1号橋 ］

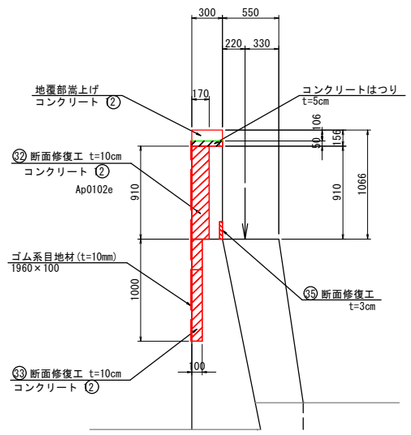
14/16

下 部 工 補 修 図 (2/2)

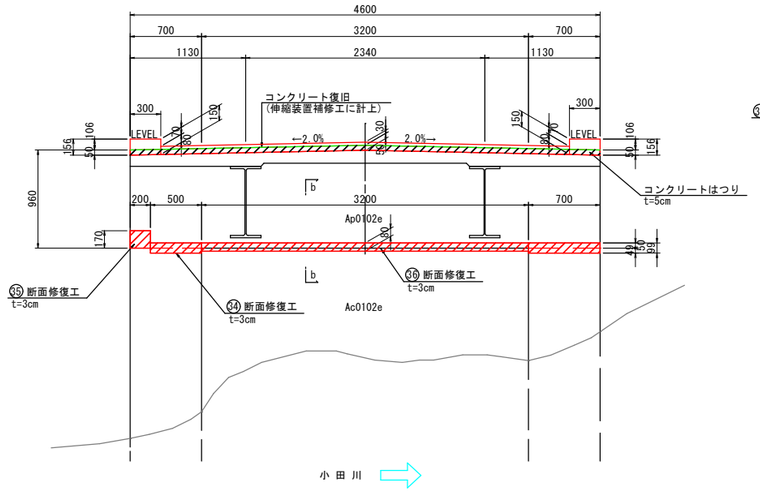
［ A2橋台 ］ S=1:30

断面修復工
コンクリートはつり
超速硬コンクリート

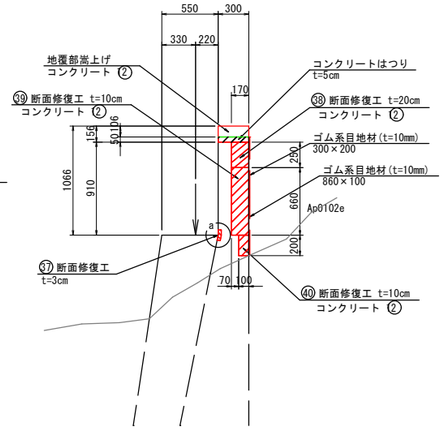
側面図(上流側)
(A2橋台)



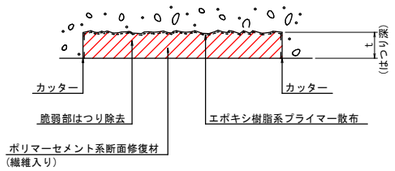
正 面 図
(A2橋台)



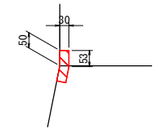
側面図(下流側)
(A2橋台)



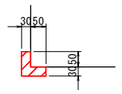
断面修復詳細図
34 35 36 NOSCALE



a部詳細図
34 37 S=1:10

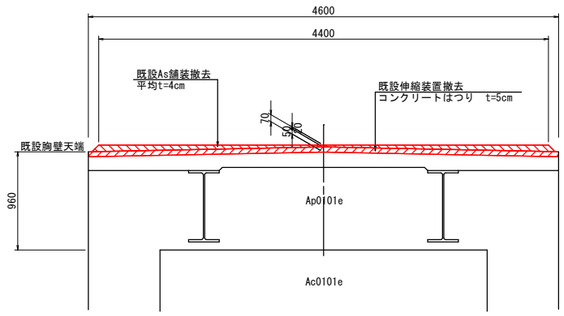


b-b断面
36 S=1:10

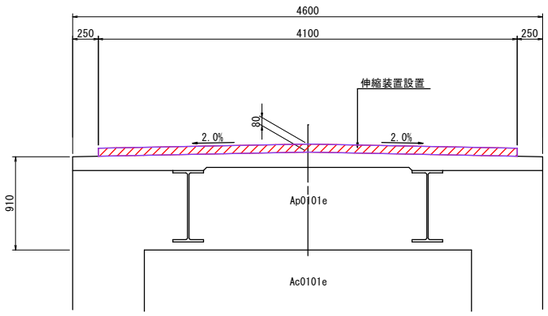


胸壁天端施工手順

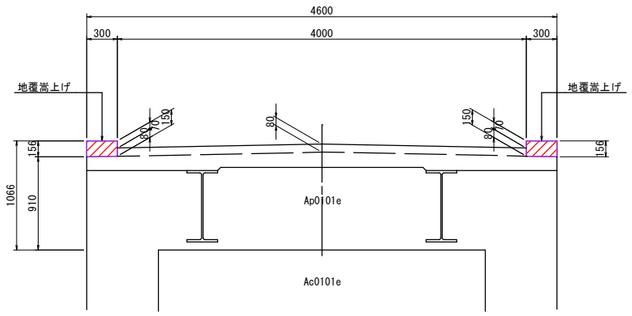
(1) 既設As舗装を撤去する。
(2) 胸壁天端からt=5cmをはつり、既設伸縮装置を撤去する。



(3) 鋼製伸縮装置の設置。
使用コンクリート：超速硬コンクリート



(4) 地覆嵩上げコンクリート打設。
使用コンクリート：コンクリート ⑫



(特記事項)
1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所は下地処理、プライマー塗布を行うこと。

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第 10 号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
仮設計画図(案)	縮尺 S=1:50
図面番号	16 葉中 15
建設部 土木課	
五所川原市	

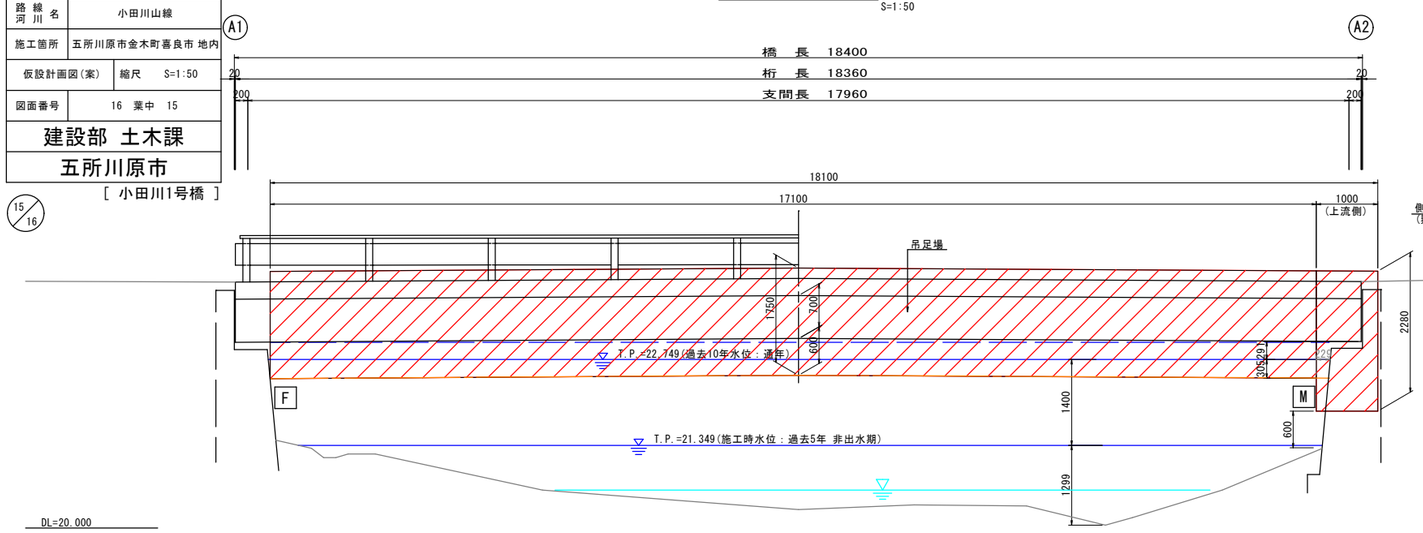
15/16

[小田川1号橋]

仮 設 計 画 図(案)

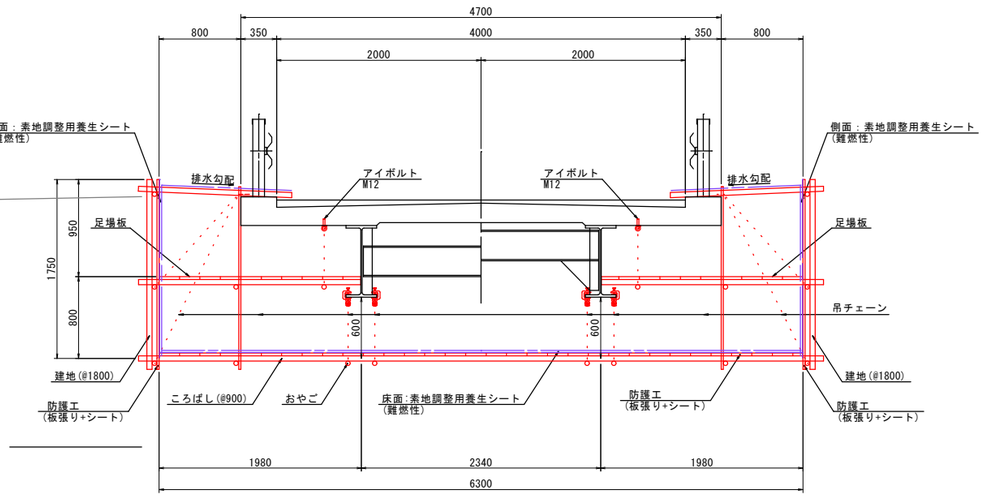
側 面 図

S=1:50



標 準 断 面 図

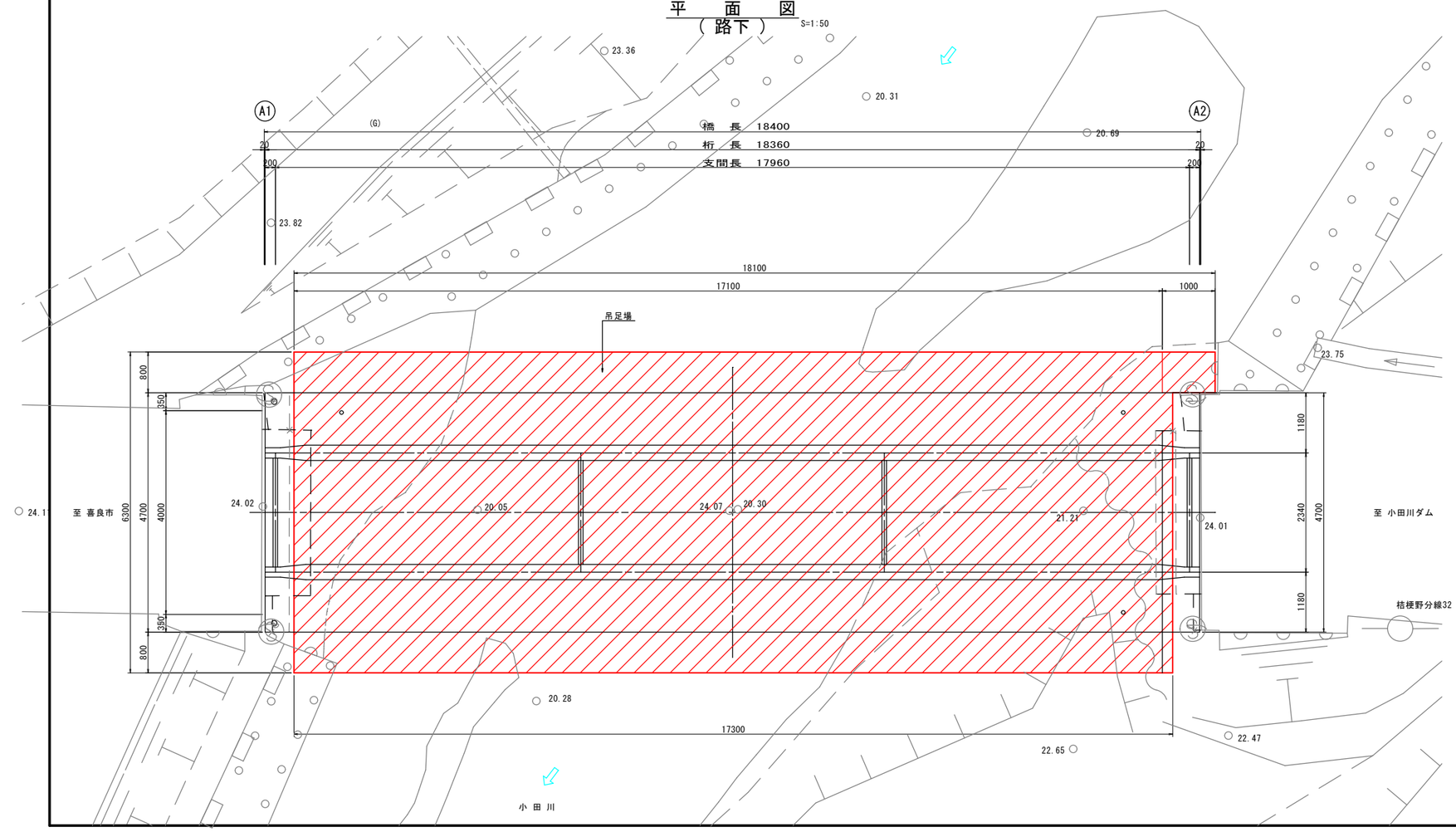
S=1:30



平 面 図

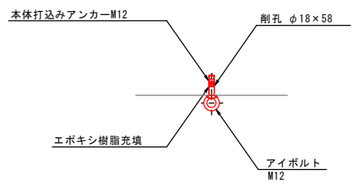
(路下)

S=1:50



アンカー詳細図

S=1:10



特記事項

※1. 塗装に鉛を含有していることから、剥離材塗布時及び剥離作業時、ケレン作業時は飛散防止のため密閉養生とする。

※2. アイボルトはメッキ仕様とする。

※3. 作業後、将来の補修等を考えアイボルトを存置すること。

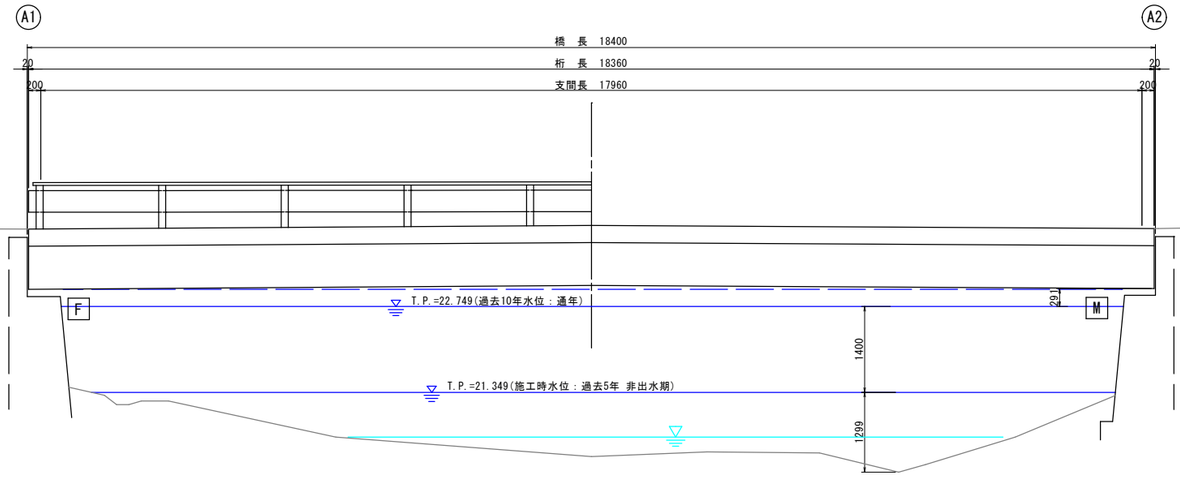
現　況　一　般　図

令和８年度 小田川山線橋梁補修(小田川1 号橋)工事	
工事番号	第　10　号
路線 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町喜良市 地内
現況一般図	縮尺　S=1:50
図面番号	16　葉中　16
建設部　土木課	
五所川原市	

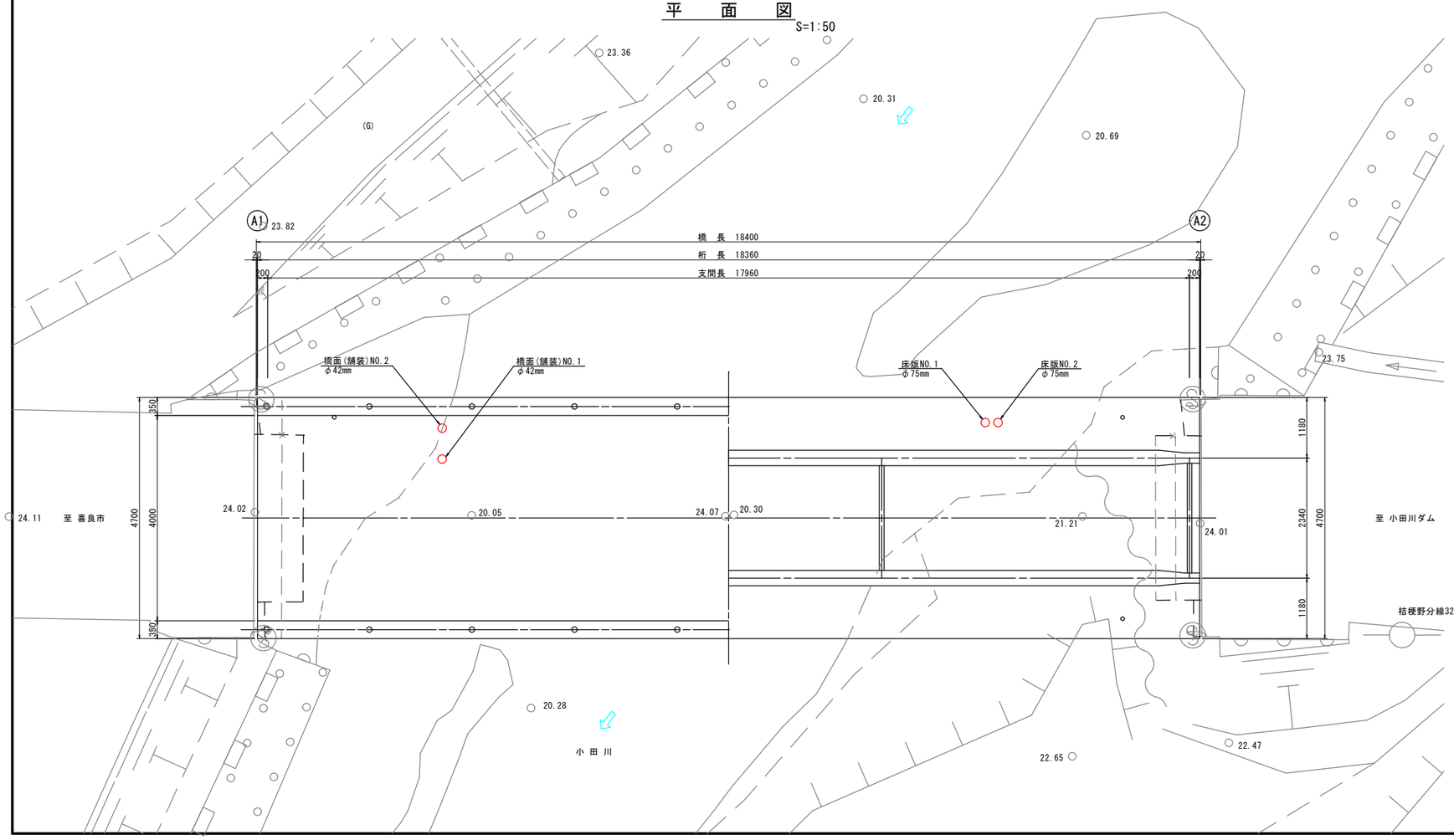
16/16

［ 小田川1号橋 ］

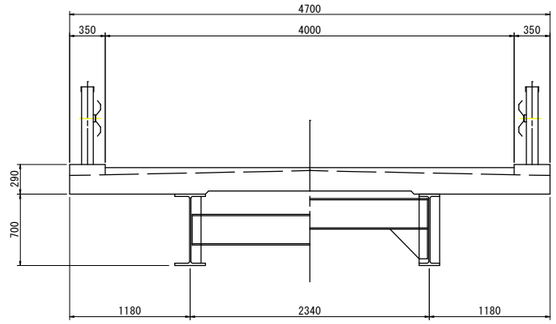
側　面　図
S=1:50



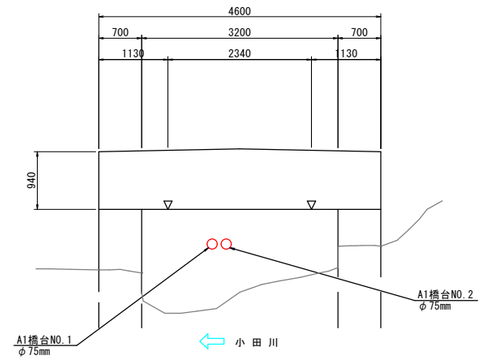
平　面　図
S=1:50



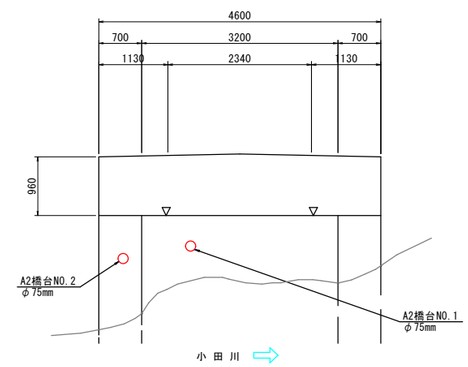
標　準　断　面　図
S=1:30



A1 橋　台
S=1:50



A2 橋　台
S=1:50



凡例
○ 試験用コア採取位置

橋　梁　諸　元

上部工形式	鋼単純合成H桁
設計荷重	TL-14
橋　　長	18.400m
桁　　長	18.360m
支 間 長	17.960m
全 幅 員	4.700m
有効幅員	4.000m
横断勾配	←2.000%　2.000%→
斜　　角	90° 00′ 00″
橋面舗装	アスファルト舗装
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
架設年度	昭和44年11月
適用示方書	道路橋示方書・同解説 昭和39年